

ボラマガ

～ボランティアセンターマガジン～

令和5年6月15日号 第61号

発行 社会福祉法人 神栖市社会福祉協議会 ボランティアセンター
〒314-0121 神栖市溝口1746番地1
TEL : 0299-93-1029 FAX : 0299-92-8750
ホームページ <https://www.kamisushakyo.jp>
※ホームページでは、この広報紙に掲載している写真をカラーでご覧になれます
メールアドレス info@kamisushakyo.jp

進路選択を考えている高校生のみなさん、社協が‘その夢’を応援します 『令和5年度 高校生の進路アシストカレッジ』7月26日(水)開講！

進路アシストカレッジは、ソーシャルワーカーや介護士、保育士や看護師などの仕事に興味・関心がある高校生を対象に、希望する現場で体験し専門職からの実践や講話を通じて仕事の社会的な必要性や醍醐味を感じられる研修です。将来の職業選択や資格取得を目指すきっかけになることを目的としていますので、福祉・保育・医療関係への進学、就職を考えている仲間と共に将来の仕事について学び合うことができます。神栖市内の高校生の皆さん、ぜひご参加ください。

アシストカレッジの日程

1日目 7月26日(水) 9時～13時
会場：市保健・福祉会館 旧館2階 健康相談室
9:00 開講式／オリエンテーション
? 専門職からの講話 ※講師は下記の通り
13:00 職場体験に向けての準備、諸注意説明

【講師】

宮内久珠子氏 【看護師】 神栖済生会病院
五十嵐幸子氏 【介護福祉士】 ふくしの介護センター
小原夕美子氏 【介護福祉士】 就労支援センターコンパス
熱田理紗氏 【保育士】 軽野保育園
田谷宗也氏 【社会福祉士】 白十字総合病院(MSW)
※MSW…医療ソーシャルワーカー

2日目～5日目 7月27日(木)～8月9日(水)のうち4日間
市内各施設で職場体験

9:00 ※1 職場体験の日程はアシストカレッジ申込後、
? 希望職種に合わせて各施設と調整します。
16:00 原則、昼食を各自持参してください。
※2 職場体験の協力機関は次ページへ

6日目 8月10日(木) 9時～12時
会場：市保健・福祉会館 旧館2階 健康相談室

9:00 振り返り、まとめ
? 一日目の講師の方に協力して頂き、アドバイスを
12:00 受けながら職場体験で感じたことを振り返ります。



市内保育園での実習場面

★必ずお読みください

■対象 ※以下①、②を満たす方

- ①神栖市在住もしくは
市内の高校に在学中の高校生
- ②講話2日間(7/26, 8/10)、
実習4日間(7/27～8/9までの4日間)
上記全6日間に参加できる方

■定員 20名(先着順)

※定員超過の場合は高学年の方を優先
とさせていただきます。

■参加費 無料

★申込方法★

神栖本所 ボランティアセンター 電話:0299-93-1029

①右記のQRコード(Googleフォーム)にて仮申し込みをしてください。(電話での仮申し込みも可能です)

②ご自宅に資料を郵送しますので、別紙申込書に記入の上、**7月14日(金)**までに
郵送もしくはFAXにて返送ください。※保護者の同意が必要です。別紙同意書に必ずご記入ください。

申込期間：6月15日(木)～7月14日(金)



社協のアシストカレッジはここが他と違う！



- 1日体験では終わらない4日間の充実した実習体験
- 実習前後の2日間を専門職が手厚くフォローアップ！（7/26、8/10の2日間）
- 現役の専門職に直接話が聞ける、質問できる！
- 同じ将来の目標に向けて学ぶ仲間と学校を超えて出会える！
- 全課程修了者には、本会から修了証と進学を希望する学校への推薦状を発行いたします。

過去の実施の様子は
右記QRコードでチェック！



【職場体験協力機関】（順不同、敬称略）

■高齢者施設

- ・ デイサービスセンターみのり須田（須田）
- ・ デイサービスセンターみのり（矢田部）
- ・ ふくしの介護センター（高浜）

■障害者施設

- ・ ハミングハウス（矢田部）
- ・ 福祉作業所きぼうの家（溝口）
- ・ デイサービスセンターのぞみ（溝口）
- ・ グッドライフ神栖（日川）
- ・ 就労支援センターコンパス（溝口）

■児童福祉施設

- ・ 波崎こども園（波崎）
- ・ 深芝保育園（深芝）
- ・ うずも保育園（知手中央）
- ・ きさき保育園（木崎）
- ・ 波崎ひかり保育園（波崎）
- ・ 土合舎利保育園（矢田部）
- ・ 軽野保育園（知手）
- ・ 土合こども園（土合東）

■障害児施設【児童発達支援・放課後等デイサービス】

- ・ でいサービスみなと（土合南）
- ・ ゆめキッズ神栖（深芝南）
- ・ シードリーフ神栖（神栖）

■医療機関

- ・ かしまなだ診療所（知手中央）
- ・ 新扇歯科医院（木崎）
- ・ 白十字総合病院（賀）※MSWの実習のみ可
- ・ 神栖済生会病院（知手中央）※看護師・MSWの実習可

★MSW（医療ソーシャルワーカー）とは？★

医療機関等において患者や家族の相談（病気やケガで治療が必要になった時、収入や治療費がない、職場復帰できない、病気に対する不安があるなど）にのり、社会福祉の立場から経済的・心理的・社会的問題の解決、調整、社会復帰を支援する専門職です。

出典：job tag（厚生労働省職業情報提供サイト（日本版O-NET））

☆不明な点等ありましたら下記にお問い合わせください☆

神栖本所 ボランティアセンター TEL：0299-93-1029 mail：info@kamisushakyo.jp

わくわくサロンが開催されました【わくわくサロンはさき】

サロンは、地域の高齢者や障害者、子育て中の親子が公民館などの身近な場所に集まって気軽に楽しい時間を過ごす活動です。今回は6月5日（月）に日の出町区民館で開催された『わくわくサロンはさき』におじゃましました。代表の伊豆さんの挨拶から始まり、すでに20人を超える参加者とボランティアの皆さんが一カ月ぶりに顔を合わせました。途中から参加した方にも、顔を見てにっこり「よく来たな、早くすわりい」と歓迎。



民謡を全員で歌った後、ボランティアの舞踊を鑑賞しました。盛り上がってきたところで参加者側に座っていた方が前にでて、素敵なお面をつけて手踊りを披露し、参加者もボランティアさんも一緒に笑い合いました。



「物価上昇でお弁当代も前と同じとはいきませんが、参加者の皆さんからは絶対500円以上取らないと決めているんです。現在のお弁当代も施設使用料も地区の区長さんをはじめ、地域の皆さんの理解から成り立ってます。様々な事を乗り越えて今があります。」と伊豆さんからお話がありました。

☆紙面では載り切らない取材の様子は本会ホームページ記事をご覧ください。
<https://www.kamisushakyo.jp/>☆

団体データ	サロン名	わくわくサロンはさき
	開設日	平成20年3月3日
	開催日	毎月第1月曜日
	会場	日の出町区民館
	代表者	伊豆 富喜さん
参加費	500円	

☆サロンに関するお問い合わせ：ボランティアセンター 神栖本所 0299-93-1029 波崎支所 0479-48-0294

自宅や職場で“収集ボラ活動”を始めませんか

ご自宅や職場で簡単に始められる『収集ボランティア活動』をご紹介します。以下の物品寄付は、神栖市社協で随時受け付けていますので、“何か始めてみたい”と思われる方はできることから始めてみませんか。『収集ボランティア活動』にご興味のある方はお気軽にボランティアセンターへお問い合わせください。

【令和4年度預託実績】

使用済切手 : 136,200枚

使用済カード : 1,147枚

ベルマーク : 43,600枚

ありがとう!

★ボランティア活動支援へ



■使用済み切手やカード(テレホンカード、図書カード、クオカード等)

使用済切手やカードは、茨城県社協に寄せられた専門業者等が買い取り、そのお金は茨城県ボランティア基金に積立てられ、県内のボランティア活動支援に活用されます。切手の周囲5~10mmの余白を残し切り取ります。破れている、折れている、またメータースタンプやあらかじめ印刷されているものはお受けできませんのでご注意ください。

★地震などにより被災した学校への支援へ

■ベルマーク



神栖市社協に集められたベルマークは、ベルマーク教育財団へ送り、1点1円換算で地震などによる被災校の教材・備品の購入に役立てられます。いつも買っている食品、例えば砂糖、塩、ペットボトル飲料、お菓子などの外袋にもついているかもしれません。すぐに捨てずに、ちょっとしたボランティア活動として気にしてみてください。

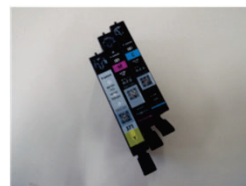
ベルマークはボランティア登録団体『鐘の会』、『ベルの会はさき』の皆さんに仕分け・集計していただいています。

神栖地区
『鐘の会』



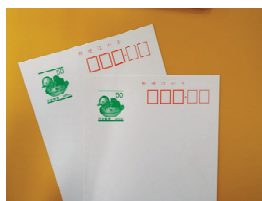
■使用済みインクカートリッジ・トナー

使用済みの純正インクカートリッジ(キャノン、エプソン、ブラザー製のみ、リサイクル品は不可)は1つ5点、トナーは1つ50点に換算されます。純正品には必ず各社のロゴが入っています。事前に確認後、ご寄付をお願い致します。



★アジアの国々への車いす支援へ

■書き損じはがき(通常のはがき、年賀はがき等)

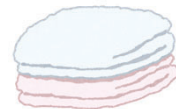


神栖市社協に集められたはがきは使われなくなった車いすを修理再生し車いすが不足している国々に贈る“空飛ぶ車いす”活動を支援する(財)日本社会福祉弘済会に送られ、切手に交換されます。その切手を協力企業が購入、換金され、修理部品代や海外輸送費として活用されます。一度投函されたはがき(返送されたものを含む)、私製はがきは対象となりませんのでご注意ください。

★障害者施設への支援へ

■タオル、布(未使用のもの)

市内の障害者施設へ送られ、雑巾や巾着袋などの製品へ加工・販売されます。その収益が利用者の報奨金や施設の活動資金となります。タオルには柄や会社名等が入っていても受け付け可能です。



神栖市社協・ボランティアセンター窓口、交流サロンには使用済み切手やベルマーク、書き損じはがきの収集箱を常設しておりますので、気軽に寄付ができます。ご協力をよろしくお願いいたします。



◇問合せ先 神栖本所 電話：0299-93-1029

波崎支所 電話：0479-48-0294

★食品(保存食・レトルト等)も寄付受付中です! 詳しくは次のページをご覧ください。

食品寄付募集中 食品ロス削減！もったいないを橋渡しプロジェクト

神栖市社協では、食品ロス削減の取り組みとして、市民や企業・団体が気軽に「食品寄付」を行えるよう環境を整え、寄付食品がスムーズに有効活用されるよう市内社会福祉施設やボランティア団体に事前登録をいただき社協が橋渡しをする取り組みを行っています。このプロジェクトをさらに進められるよう、食品寄付を随時受け付けていますので、ぜひご協力ください。併せて、寄付食品を活用したい施設及び団体も募集しています。詳細は下記までお問い合わせください。

★きずなBOXへの寄付

神栖市社協は、NPO法人フードバンク茨城と連携し、気軽に食品を寄付できる「きずなBOX（食品収集箱）」を本所ボランティアセンターと波崎支所に設置しています。お寄せいただいた食品は社会福祉施設等で活用されます。

【ご寄付いただきたい食品】

缶詰、インスタント麺、パスタ・うどん・そば等の乾麺、レトルト食品、災害備蓄品など常温保存が可能で未開封、消費期限が2ヶ月以上残っているもの（回収してからお渡しするまでの期間を考慮しています）。

※お米の寄付については、事前にご相談ください。



【きずなBOX】

■お問い合わせ 神栖市社協ボランティアセンター 0299-93-1029

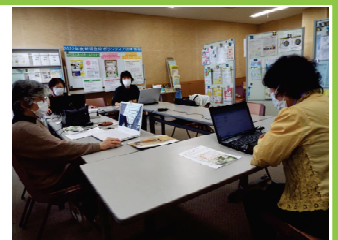
ボランティアセンターにお越しく下さい！！

新型コロナウイルス感染症が感染症法上の位置づけが「5類」になったことで、コロナ禍前と同様とは言えませんが、ボランティア活動を再開される方も増え、少しずつですがボランティアセンターにも活気が戻りつつあります。

ボランティアセンターでは、市民の皆さんが「いつでも・どこでも・だれでも」安心してボランティア活動への参加や利用が出来る環境を作り、社会的な支え合い活動を側面から応援しています。是非、ボランティアセンターにお越しく下さい。



窓口の亚克力板を撤去しました。透明とは言っても圧迫感や声の聞き取りにくさ等がありましたが、今後は開放感のある窓口でボランティアについての相談をお受けいたします。



交流サロンは10名程度の少人数での打ち合わせや作業スペースとしてご活用いただけます。またサロン内にある掲示板にはボランティア情報も掲載しています。新たなボランティアとの出会いがあるかもしれません。是非ご覧ください。

◇ボランティアセンターマガジンへのご意見・ご感想をお寄せください◇

広報紙に関するご意見・ご感想につきましては、下記のお問い合わせ先、もしくは右記のQRコード（Googleフォーム）にてお寄せください。

●お問い合わせ：神栖本所 広報グループ 電話：0299-93-0294



QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。